

社外発表論文一覧表 (技術研究報告 VOL. 17 2007) <土木部門>

No.	執筆者氏名 (○: 講演者)	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ/ 発行(講演)年月
1	○山田浩幸, 岡田正之, 藤原康政, 野城一栄	山岳トンネルの要求性能としての耐震性能に関する一考察	土木学会地下空間シンポジウム論文・報告集 Vol. 11	pp. 201-208 2006. 1
2	日高厚, 永塚典幸	脱水・固化処理技術による湖沼浚渫土の地盤材料への有効利用	基礎工 Vol. 34, No. 2	pp. 33-36 2006. 2
3	為石昌宏, 坂口和雅, 富澤直樹, 坂口 武	アルカリフリー液体急結剤を用いた吹付けコンクリートによる粉じん低減効果	コンクリート工学 Vol. 44, No. 3	pp. 44-48 2006. 3
4	加藤 満, 田中幸芳, 西村雄二 (ジオダイナミック)	福岡県西方沖地震におけるグラベルドレーンの液状化防止効果	基礎工 Vol. 34, No. 4	pp. 74-76 2006. 4
5	中島卓夫, 田村和広, 轟木朋浩 (東芝), 佐藤岳史 (東芝)	ダイオキシン/PCB汚染土壌の浄化処理	環境浄化技術 Vol. 5, No. 9	pp. 41-44 2006. 6
6	吉田幸司, 松原博幸, 日高厚	湖沼浚渫底泥の脱水処理による減容化と処理土の有効利用事例	環境技術 Vol. 35, No. 6	pp. 50-51 2006. 6
7	五十嵐勝 (ダィコン社), 市川尋士 (丸山工業), 久保正顕 (清水), 三反畑勇 (ハザマ), 加藤満	真空圧密工法による圧密沈下対策事例	基礎工 Vol. 34, No. 6	pp. 76-79 2006. 6
8	吉岡由郎, 西村良平, 大桑宗一郎	土砂混じり廃棄物選別プラントとリサイクル—不法投棄廃棄物の原状回復事業—	建設の施工企画 No. 676	pp. 19-23 2006. 6
9	○中島卓夫, 小山 孝, 松生隆司, 白川知伸, 須原貞義 (宇部興産)	間接熱脱着法によるPCB汚染物の浄化	第12回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 講演集	S1-34 pp. 158-163 2006. 6
10	○藤長愛一郎, 森澤眞輔, 米田 稔, 吉岡昌徳, 笹本 譲	汚染サイトのリスク管理—毒性値などの更新の影響—	第12回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 講演集	S3-10 pp. 350-353 2006. 6
11	○田中宏幸, 窪原拓馬, 藤長愛一郎, 笹本 譲, 内山裕夫 (筑波大学)	関東ロームの油汚染サイトに対する原位置バイオレメディエーションの低減効果についての検討	環境バイオテクノロジー学会2006年度大会 要旨集	p. 21 2006. 6
12	○田中宏幸, 藤長愛一郎, 清都通生, 浦上秀男, 笹本 譲	酸素徐放剤による油汚染土壌の原位置バイオレメディエーション	第12回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 講演集	pp. 577-580 2006. 6
13	○窪原拓馬, 松原博幸, 笹本 譲, 吉田幸司, 久野治道, 岩本 茂	昆陽池の浚渫と高圧薄層脱水システムによるリサイクル処理	土木建設技術シンポジウム 2006論文集	pp. 41-46 2006. 7
14	○日高厚, 川西順次, 小山孝, 永塚典幸	脱水・固化処理技術による湖沼浚渫土の有効利用に関する検討	第41回地盤工学研究発表会 発表論文集	pp. 533-534 2006. 7
15	中島卓夫, 橘敏明, 高松順一, 小山孝	TPS法(間接脱着法)によるダイオキシン類汚染土壌浄化の最新事例	土木施工 Vol. 47, No. 8	pp. 30-34 2006. 8
16	佐藤一郎, 三宅啓太	周辺環境に配慮した掘削構造の試験施工—東名阪道 鳴海南工事—	EXTEC No. 78 Vol. 20, No. 2	pp. 28-32 2006. 9

No.	執筆者氏名 (○: 講演者)	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ/ 発行(講演)年月
17	○山田浩幸, 原田雅也, 田中英男, 三木秀二	前方探査に基づく地山評価システムの構築と適用に関する一考察	土木学会第61回年次講演会	6-156 2006. 9
18	○藤長愛一郎, 笹本 謙, 吉田幸司	アスベストによる健康リスクの現状とリスク低減対策	第6回環境技術学会研究発表会 予稿集	pp. 39-42 2006. 9
19	日高 厚	脱水・固化処理技術による湖沼浚渫土の地盤材料への有効利用 - 脱水処理土(脱水ケーキ)の高品質化技術の開発 -	HEDORO No. 97	pp. 39-46 2006. 9
20	向後雄二 (農村工学研究所), 大木洋平 (西松), 藤井 誠	国際大ダム会議 (ICOLD) 第74回年次例会・第22回大会参加報告書 フィルダム材料委員会	大ダム No. 197	pp. 18-19 2006. 10
21	石川伸夫 (熊谷), 木戸研太郎 (水資源機構), 林 忠卿 (青木あすなろ), 藤井 誠	国際大ダム会議 (ICOLD) 第22回大会提出課題論文討議報告 課 題87 洪水と濁水	大ダム No. 197	pp. 54-59 2006. 10
22	吉田貴志, 加藤 満, 市川晴雄 (ジオダイナミック), 金井重夫 (千代田工営)	ねじ込み式マイクロパイル工法の施工事例 - 施工機の改良と低空頭・狭隘地での施工事例 -	建設機械 Vol. 42, No. 11	pp. 11-14 2006. 11
23	吉田貴志, 加藤 満, 市川晴雄 (ジオダイナミック), 金井重夫 (千代田工営)	ねじ込み式マイクロパイル工法の適用事例	基礎工 Vol. 34, No. 11	pp. 38-41 2006. 11
24	吉田貴志, 加藤 満, 吉田弘司 (ジオダイナミック)	ねじ込み式マイクロパイル工法	基礎工 Vol. 34, No. 11	pp. 71-73 2006. 11
25	○山田浩幸, 原田雅也, 田中英男, 三木秀二	トンネル地山評価システムを用いた補助工法の選定と施工	トンネル工学論文集 Vol. 16	pp. 93-100 2006. 11
26	佐藤一郎, ○三宅啓太, 松本豊和 (NEXCO中日本), 菊川秀之 (NEXCO中日本)	ソイルセメント柱列壁芯材を利用した地下水流動保全対策 - 掘割区間における試験施工 -	地下水地盤環境に関するシンポジウム2006 - 水辺と堤防と地下水 -	pp. 41-48 2006. 11
27	○Hiroyuki Yamada, Masahiro Baba, Yujing Jiang	AUXILIARY METHOD TO STABILIZE CUTTING FACE OF MOUNTAIN TUNNEL	4th Asian Rock Mechanics Symposium Vol.4	p. 264 2006. 11

社外発表論文一覧表 (技術研究報告 VOL. 17 2007) <建築部門>

No.	執筆者氏名 (○: 講演者)	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ/ 発行(講演)年月
1	○Yuji Takahashi(BRI), Satoshi Yasuno, Koji Nishiuchi, Keiichi Yamaguchi	Seismic Risk Management of an Urban Building Considering Multiple Seismic Sources	Proceedings of 8th U.S. National Conference on Earthquake Engineering, San Francisco, CA	Paper No. 487 April 2006
2	○中野美奈, 山名俊男 (国土技術政策総合研究所)	噴流による遮煙効果に関する実験的研究	日本火災学会 研究発表会概要集	pp. 124-127 2006. 5
3	森清宣貴, 深澤尚宏(静岡県庁), 吉江慶祐(日建), 北村春幸(東京理科大) 藤田隆史(東京大学), 浅野美次(日建), 安田正志(特許機器)	微振動測定に基づく免震建物の入力損失に関する検討	日本建築学会技術報告集 第23号	pp. 103-108 2006. 6
4	岩佐州紘, 新井佑一郎(日本大学), 半貫敏夫(日本大学), 秋山宏(日本大学)	実大鋼構造柱梁接合部の延性破壊－脆性破壊 遷移実験	鋼構造論文集 第13巻第50号	pp. 45-56 2006. 6
5	○西川嘉雄, 佐藤洋 (産業技術総合研究所), 井上諭 (東急建設), 小林好人 (旭硝子ビルウォール)	建築空間におけるインパルス応答を用いた音 声伝送性能評価 各種物理評価指標の関係	日本建築学会環境系論文集 第605号	pp. 9-14 2006. 7
6	○西川嘉雄, 日本建築学会音声伝送研究WG	建築空間における音声伝送性能の評価基準作 成に向けて	日本音響学会建築音響研究 会資料	AA2006-22 2006. 7
7	○佐藤洋 (産業技術総合研究所), 西川嘉雄, 佐藤逸人 (神戸大学), 森本政之 (神戸大学)	音声伝送品質評価のためのインパルス応答 データベースの活用 －主観評価値と物理量の対応関係	日本音響学会建築音響研究 会資料	AA2006-23 2006. 7
8	○木本健二 (芝浦工業大学), 松村秀一 (東京大学), 藤原光弥	建築プロジェクトマネジメントにおけるコン ピュータ支援システムの開発手法に関する研 究	日本建築学会 第22回建築生産シンポジウ ム論文集	pp. 179-186 2006. 7
9	○Shinji Ito, Yasuo Okuda(BRI), Hitomitsu Kikitsu(BRI), Masamiki Ohashi (NILIM), Tetsuro Taniguchi(Osaka City Univ.), Yoshihito Taniike(Osaka City Univ.)	Experimental study on flow and pressure fields over the roof of a cube by PIV measurements	Proceedings of Fourth International Symposium on Computational Wind Engineering	pp. 435-438 2006. 7
10	○佐竹啓一, 北中勉, 柴田泰英	既存建物解体に伴う地下外壁に作用する側圧の 推定	第41回地盤工学研究発表会 発表論文集	pp. 1627-1628 2006. 7
11	○添田智美(フジタ), 高松 誠, 大澤 悟(竹中), 久保田浩(大成建設), 小久保正美(三井住友建設), 住野正博(大林組), 山田人司(ハザマ)	外装塗料・仕上塗材の標準耐用年数に関する 調査研究 その1 調査研究の目的および概 要	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) A-1 材料施工	pp. 1123-1124 2006. 9
12	○久保田浩 (大成建設), 高松 誠, 大澤 悟(竹中), 小久保正美(三井住友), 住野正博(大林組), 添田智美(フジタ), 山田人司(ハザマ)	外装用塗料・仕上塗材の標準耐用年数に関す る調査研究 その2 塗料(鉄鋼面・亜鉛 めっき鋼面)に関するアンケート調査結果	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) A-1 材料施工	pp. 1125-1126 2006. 9
13	○大澤 悟(竹中工務店), 高松 誠, 久保田浩(大成), 小久保正美(三井住友) 住野正博(大林組), 添田智美(フジタ), 山田人司(ハザマ)	外装用塗料・仕上塗材の標準耐用年数に関す る調査研究 その3 塗料(アルミニウム 面)に関するアンケート調査結果	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) A-1 材料施工	pp. 1127-1128 2006. 9
14	○小久保正美(三井住友建設), 高松 誠, 大澤 悟(竹中), 久保田浩 (大成建設), 住野正博(大林組), 添田智美(フジタ), 山田人司(ハザマ)	外装塗料・仕上塗材の標準耐用年数に関する 調査研究 その4 塗料コンクリートモルタ ル面に関するアンケート調査結果	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) A-1 材料施工	pp. 1129-1130 2006. 9
15	○中野美奈, 山名俊男 (国土技術政策総合研究所)	噴流による遮煙効果に関する実験的研究 給気方向の違いによる遮煙効果に関する考察 (その2)	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) A-2 防火	pp. 261-262 2006. 9
16	○坪田正紀(構造計画), 高橋雄司(建研), 浅野美次(日建), 安野郷, 藤井中(竹中), 泉田伸二(ヒューズ三菱), 中川太郎(フジタ), 平松剛(大和ハウス), 小田聡(都市機構)他	地震リスク・マネジメント技術を活用した地 震対策の効果検証 その14. 簡易LCC分析プロ グラム	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) B-1 構造 I	pp. 53-54 2006. 9

No.	執筆者氏名 (○: 講演者)	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ/ 発行(講演)年月
17	○澤飯明広(構造計画研究所), 高橋雄司(建築研究所), 浅野美次(日建), 安野 郷, 泉田伸二(ピーエス三菱), 中川太郎(フジタ), 山岸邦彰(三井住友)	地震リスク・マネジメント技術を活用した地震対策の効果検証 その15. 東京周辺の震源域および建物位置における地震動	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) B-1 構造 I	pp. 55-56 2006. 9
18	○安野 郷, 高橋雄司(建築研究所), 西内晃二, 山口圭一	地震リスク・マネジメント技術を活用した地震対策の効果検証 その18. 粘弾性ダンパーによる共同住宅の制震改修	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) B-1 構造 I	pp. 61-62 2006. 9
19	○伊藤真二, 奥田泰雄(建築研究所), 大橋征幹(国総研), 喜々津仁密(建築研究所), 谷池義人(大阪市大), 谷口徹郎(同)	立方体屋根面上流れと風圧の同時POD解析	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) B-1 構造 I	pp. 143-144 2006. 9
20	○桐田史生(東京理科大学大学院), 金澤健司(電力中央研究所), 森清宣貴, 北村春幸(東京理科大学)	建築物の地震損傷検知のための時変システム同定手法の開発	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) B-1 構造 I	pp. 309-310 2006. 9
21	○森清宣貴, 金澤健司(電力中央研究所), 桐田史生(東京理科大学大学院), 北村春幸(東京理科大学)	免震建物を対象とした固有振動数の長期モニタリング	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) B-2 構造 II	pp. 517-518 2006. 9
22	○関谷英一, 壁谷澤寿成(東京大学), 曾田五月也(早稲田大学)	粘弾性ダンパーによる制振補強を実施した既存RC造建物の付加減衰評価 (その1 補強建物の概要)	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) B-2 構造 II	pp. 773-774 2006. 9
23	○壁谷澤寿成(東京大学), 関谷英一, 曾田五月也(早稲田大学)	粘弾性ダンパーによる制振補強を実施した既存RC造建物の付加減衰評価 (その2 常時微動測定に基づくモーダル減衰の同定)	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) B-2 構造 II	pp. 775-776 2006. 9
24	○榊田洋子(桃李舎), 榎原健一	木造モノコックユニット構法の開発 その4 リブフレームの水平載荷実験	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-1 構造 III	pp. 145-146 2006. 9
25	○榎原健一, 榊田洋子(桃李舎)	木造モノコックユニット構法の開発 その5 リブフレームの復元力特性	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-1 構造 III	pp. 147-148 2006. 9
26	○野島千里(野島建築設計事務所), 榎原健一	木造軸組の耐震性能評価法 一変位増分法(その3: 多層建物の平屋モデル化検証(2))一	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-1 構造 III	pp. 291-292 2006. 9
27	○加藤正敦(NTT都市開発), 嶋徹(戸田), 森田耕次(千葉大), 廣重隆明(竹中), 石原完爾(大手町ファーストスクエア), 岡野昌明(鹿島), 古城豊光 他	始末端部に非貫通欠陥を有する突合せ溶接部の実験的研究 一 その5. 実験計画 一	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-1 構造 III	pp. 977-978 2006. 9
28	○廣重隆明(竹中), 森田耕次(千葉大), 石原完爾(大手町ファーストスクエア), 加藤正敦(NTT都市開発), 岡野昌明(鹿島) 古城豊光, 土屋芳弘(飛鳥建設)他	始末端部に非貫通欠陥を有する突合せ溶接部の実験的研究 一 その6. 実験結果考察 一	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-1 構造 III	pp. 979-980 2006. 9
29	○村上秀夫, 藤本利昭(安藤建設), 永田 諭(豊橋技術大学), 松井智哉(同), 倉本 洋(同)	パネル接合方法の異なるプレキャストCES柱の構造性能 (その1 実験概要及び試験体の損傷)	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-1 構造 III	pp. 1171-1172 2006. 9
30	○村田義行(高周波熱錬), 藤井 睦, 小田康弘(五洋建設), 黒沢俊也(銭高組), 加藤広宣(大日本土木), 土屋芳弘(飛鳥建設)	鋼製束とPC鋼棒を用いたスラブ補強工法の開発 その1 工法および実験概要	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-2 構造 IV	pp. 195-196 2006. 9
31	○植木理枝子(五洋建設), 黒沢俊也(銭高), 加藤広宣(大日本土木), 土屋芳弘(飛鳥建設), 藤井 睦, 村田義行(高周波熱錬)	鋼製束とPC鋼棒を用いたスラブ補強工法の開発 その2 実験結果および補強効果	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-2 構造 IV	pp. 197-198 2006. 9
32	○黒沢俊也(銭高組), 藤井 睦, 都祭弘幸(五洋建設), 加藤広宣(大日本土木), 土屋芳弘(飛鳥), 村田義行(高周波熱錬)	鋼製束とPC鋼棒を用いたスラブ補強工法の開発 その3 実構造物への適用	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-2 構造 IV	pp. 199-200 2006. 9
33	○片岡隆広, 山本博之, 黒木安男, 榎原健一	アウトフレーム連結制振構法による耐震補強 その1 構法概要及び試設計	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-2 構造 IV	pp. 615-616 2006. 9

No.	執筆者氏名 (○; 講演者)	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ/ 発行(講演)年月
34	○高橋宏治, 太田崇土, 太田 寛, 榎原健一	アウトフレーム連結制振構法による耐震補強 その2 基本特性	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-2 構造IV	pp. 617-618 2006. 9
35	○岩佐裕一, 藤井 睦, 辻 聖晃(京都大学), 竹脇 出(京都大学)	アウトフレーム連結制振構法による耐震補強 その3 縮小モデルによる振動実験	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-2 構造IV	pp. 619-620 2006. 9
36	○井川 望, 関谷英一, 辻 聖晃(京都大学), 竹脇 出(京都大学)	アウトフレーム連結制振構法による耐震補強 その4 振動実験結果の数値シミュレーション	日本建築学会大会 学術講演梗概集 (関東) C-2 構造IV	pp. 621-622 2006. 9
37	伊藤真二, 奥田泰雄 (建築研究所) , 大橋征幹 (国総研) , 喜々津仁密 (建築研究所) , 谷池義人 (大阪市大) , 谷口徹郎 (同)	流れと風圧の同時測定による立方体屋根面上 流れの時空間構造と風圧特性の評価	日本建築学会構造系論文集 第607号	pp. 39-44 2006. 9
38	○飯場正紀(建築研究所), 藤井 睦, 小山 信(国総研), 境 茂樹(ハザマ), 渡壁守正(戸田建設), 保井美敏(同)	常時微動を利用した住宅建物の動的相互作用 効果の評価	第12回日本地震工学シンポ ジウム論文集	pp. 670-673 2006. 11
39	○桐田史生(東京理科大学大学院), 金澤健司(電力中央研究所), 森清宣貴, 北村春幸(東京理科大学)	免震建物を対象とした固有振動数の長期モニ タリング	第12回日本地震工学シンポ ジウム論文集	pp. 1038-1041 2006. 11
40	○Hiroshi Sato(AIST), Yoshio Nishikawa, Hayato Sato(Kobe Univ), Masayuki Morimoto(Kobe Univ)	The relation between Speech Transmission Index, Clarity and reverberation time and listening difficulty in the impulse response database of AIJ	J. Acoust. Soc. Am., Vol. 120, No. 5, Pt. 2, "4th Joint meeting of ASA and ASJ"	p. 3321 2006. 11
41	坪田正紀(構造計画研), 村地由子(同) 高橋雄司(建研), 浅野美次(日建), 安野郷 藤井中(竹中), 泉田伸二(ヒース三菱), 中川太郎(フジタ), 小田聡(都市機構)他	限界耐力計算法を活用した簡易地震LCC分析プ ログラムの開発	日本建築学会技術報告集 第24号	pp. 67-72 2006. 12